

中小企業のための

SDGs × ビジネス 活用ガイド

近年、最も重要なキーワードとなっているSDGs
(エス・ディー・ジーズ：持続可能な開発目標)は
これからのビジネスに不可欠です。

取り組む
メリット

導入
ステップ

取り組み
事例

を分かりやすく解説。ぜひ、ご活用ください。



[A] 千葉県市川市にあるピーターパン小麦工房の皆さん [B] 生産者の皆さんのやりがいづくり [C] 千葉商科大学付属高校の生徒とコラボして商品開発

SDGs
Case

1

一人ひとりの可能性を尊重し、共に学び共に成長し、 お客様と共に幸せになる

- 安心して働ける職場づくり・地域づくり
- フードロス削減の取り組み
- JICA発行のソーシャルボンドへの投資

美味しい焼きたてのパンを製造、販売している（株）ピーターパンは、千葉県内に直営9店舗、フランチャイズ1店舗と、1工場を持つ成長企業です。その事業領域は、「ちょっと贅沢、ちょっとおしゃれな食文化提供業」。千葉県産の卵や、葉玉ねぎ、梨、ウィンナー等美味しい食材を使った商品等、季節を感じる楽しみや、食べる楽しみを提供しています。

正社員110名、パート・アルバイト322名を抱えるこの会社では、安心安全な作業に絞って障がい者雇用の受け入れを行い、特別支援学校の現場実習の受け入れも実施。また、社長自身が子育て中の女性であることもあって、産休・育休取得に加え、柔軟に復帰できる職場づくりと男性の育休取得も推進。2019年度には女性4名男性1名、各育

児休業取得率100%を達成しています。

近年大きな課題となっているフードロス削減にも取り組んできました。夕方の品揃えの戦略や予約制の活用、自家製フィリングの期限の見直しに加えて、最近の新しい試みは、お店で残ってしまったパンを美味しく食べてもらうための「冷凍パンおたすけセット」。人気は上々で、Webサイトで告知した途端に売り切れになるほどだそうです。

JICA（独立行政法人 国際協力機構）が発行するソーシャルボンドへも投資しています。この資金は、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際経済社会の健全な発展のために使用されるもので、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし持続可能な社会の形成に寄与します。



共に学び共に成長したい

当社の経営理念に「私たちは一人ひとりの可能性を尊重し、共に学び共に成長し、お客様と共に幸せになります」という一文があるのですが、それはまさにSDGsの精神につながると感じています。いま内定者研修で大学4年生の方々と「入社後に役立つ学びをアクティブ・ラーニングで習得しよう」ということをやっています。そのうちの一人が千葉商科大学の学生さんで、若い人のSDGsの意識の高さや多様性の価値観といったところが新鮮で、逆に、私たちの学びにもなっていますね。

株式会社ピーターパン
採用担当

吉 生子さん



株式会社ピーターパン

事業領域: ちょっと贅沢、ちょっとおしゃれな食文化提供業
パート・アルバイト322名 所在地: 本社/千葉県船橋市
八千代市1店、習志野市1店、千葉市1店 工場/船橋市

設立: 1977年 従業員数: 正社員110名、
直営店/船橋市3店、鎌ヶ谷市1店、市川市2店、
フランチャイズ/白井市 代表者: 大橋 珠生